

## 「群馬のふるさと伝統文化」 支援事業補助金

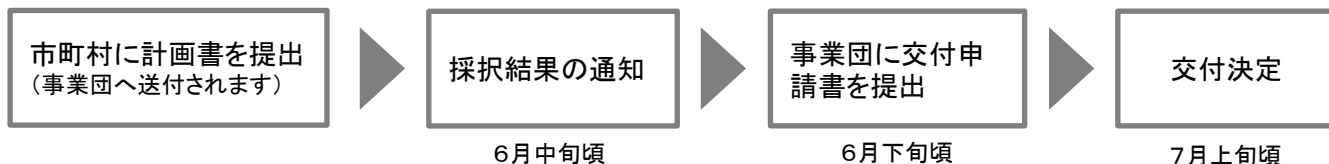
地域の伝統文化を継承していくための活動を応援します！

### 対象事業

戦前発祥の伝統文化で  
次の5つのメニューのいずれかに該当するもの

補助メニュー	内容	代表的な補助事例	補助上限額
① 伝統文化映像記録事業	地域の伝統文化を映像に記録・公開する事業	祭囃子実演の映像記録・上映会	20万円
② 伝承者養成事業	伝統文化の伝承者(後継者)を養成する事業	篠笛等の合同講習会の開催、養成に必要な道具・衣装等の補充・修繕	20万円
③ 伝統文化継承活動事業	地域の伝統文化の継承に資する事業	道具・衣装等の補充・修繕、伝統文化の復活	20万円
④ こども伝統文化継承事業	こどもたちに伝統文化を体験・修得させる事業	子ども向け教室の開催、子どもが使用する道具・衣装等の補充・修繕	20万円
⑤ 地域伝統文化サポーター事業	伝統文化の継承活動を支える活動を行う事業	地域の伝統芸能が一堂に会する発表会の開催	20万円

### 応募の流れ



### 応募期限

令和8年5月15日(金)消印有効

### 提出先

団体所在地の市町村役場(文化振興担当課)

募集要項、留意事項をご確認のうえご応募ください。  
補助金の交付は群馬県から委託された公益財団法人群馬県教育文化事業団が行います。



募集の詳細及び計画書の様式については、ホームページにも掲載しています。  
<https://www.gunmabunkazigyodan.or.jp/>



申請手続きの解説動画公開中  
<https://youtu.be/0dfTj2QuA8w>

### ■お問い合わせ先■

(公財)群馬県教育文化事業団  
事業支援課

電話:027-243-7200 FAX:027-221-4082

メール:gecf-hojo@gunmabunkazigyodan.or.jp

# 募 集 要 項

## 対象事業

表紙のとおり

(太鼓の購入・獅子頭の修繕・子どもお囃子教室の開催・伝統文化の復活・伝統芸能のDVD化等)

## 補助率

補助の対象となる経費の2/3以内(補助上限額の範囲内)

## 対象期間

単年度※令和8年度に実施する事業

(ただし、令和8年4月1日から令和9年2月末日までに実施する事業)

## 対象経費

事業の実施に必要な不可欠な直接的経費と認められる以下のものです。

映像制作費、会議開催費、消耗品費、調査研究費、講習会・発表会等に係る諸費用、広報費、備品購入費、修繕費、事業実施団体の構成員以外に対する指導謝金や交通費、会議開催時の飲み物やイベント当日の講師・スタッフ・出演者の弁当等に係る費用(単価800円以内・上限6万円)、委託料等

※ ①伝統文化映像記録事業及び⑤地域伝統文化サポーター事業については、備品購入費、修繕費は対象外経費となります。

※ 団体の運営費と認められる経費(定期総会の開催費等)は対象外となります。

## 対象団体

県内で活動する団体のうち、地域の伝統文化を次世代に残そうとする意欲のある団体(任意団体またはNPO法人)で、次のすべての条件に適合する団体です。

- 1 伝統文化に関する事業の実施経験(継承活動を含む)を有すること
- 2 定款、寄付行為に類する規約等を有すること
- 3 事業を適正に執行できる組織を有すること
- 4 自ら経理し、監査する会計組織を有すること
- 5 活動の本拠となる事務所等を有すること
- 6 役員等が、暴力団と関係しない者であること

## 対象外事業

次に掲げる事業は、原則として補助対象外です。

- 1 県費補助及び県関係団体の助成を受けている。
- 2 特定の政治または宗教活動である。
- 3 専ら営利を目的としている。
- 4 団体の運営費の確保を目的としている。
- 5 企業、職能団体等の団体内の活動である。

# 留 意 事 項

・原則として、群馬県内の各地域において戦前発祥した伝統文化が対象となります。

・過去に①～④のメニューで補助金を受けた団体であっても、10年の間隔があいていれば同じメニューで補助を受けることができます。

・令和8年4月1日～令和9年2月末日までにかかった経費が補助の対象となります。

・過去に採択歴の無い団体、利用頻度の少ない団体から優先的に採択いたします。

・備品の修繕や買替を行う場合、修繕・買替前後の写真及び納品書等が必要です。

・領収証等の宛名は、申請団体名と同じでなければなりません。

・事業終了後、実績報告書を提出してください。必要な手続きの詳細は、採択後にお知らせします。実績報告書の提出期限は、事業完了から30日以内又は令和9年3月10日のいずれか早い日です。

## 「群馬のふるさと伝統文化」支援事業 事業計画書

### 1. 事業実施団体

（フリガナ）	
団 体 名	
団 体 所 在 地	〒 電話番号: _____ FAX: _____
（フリガナ）	
代 表 者 名	（役職: _____）
代表者の連絡先等	住所: 〒 電話番号: _____ FAX: _____ Mail: _____
担当者の連絡先等	担当者名: _____（役職: _____） 住所: 〒 電話番号: _____ FAX: _____ Mail: _____
※代表者以外に補助金申請の担当者がいる場合に記入	

※団体の規約に記載されている正式名称で申請して下さい。

### 2. 伝統文化の継承状況

（フリガナ）	
伝統文化の名称	
伝 承 地	
発祥した時代	
文化財の登録状況	<input type="checkbox"/> 国指定 <input type="checkbox"/> 県指定 <input type="checkbox"/> 市町村指定 <input type="checkbox"/> なし
特 色	
継 承 の 状 況	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 中断していた時期がある（時期: _____）
団体の活動状況	・会員数: ・稽古の状況や出演したイベント、会員数の増減等:

※選択肢があるところは、該当する欄に○をつけてください。

### 3. 補助を希望する事業の内容

対 象 事 業	<input type="checkbox"/> 伝統文化映像記録事業 <input type="checkbox"/> 伝承者養成事業 <input type="checkbox"/> 伝統文化継承活動事業 <input type="checkbox"/> こども伝統文化継承事業 <input type="checkbox"/> 地域伝統文化サポーター事業			
補助を希望する事業の目的				
補助を希望する事業の概要	時期	場所	対象者	内容
※物品購入のみの場合は時期と内容のみ記入 ※事業が複数の場合は、事業ごとに記入				
期待される効果				
<input type="checkbox"/> チラシに記載の留意事項について、確認しました。（※募集チラシの留意事項を確認の上、チェックをつけてください）				

※選択肢があるところは、該当する欄に○をつけてください。

### 4. 事業実施に要する経費

単位：円

	経 費 区 分	金 額	補助対象経費	摘要(品目、数量など)
収 入	事業団補助金			
	計			
支 出				
	計			

※金額を書き損じた場合は、訂正せずに新しい用紙に書き直してください。

※対象事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記入してください。

※枠内に書ききれない場合は、別紙に記入して添付してください。

#### ■参考として、下記書類を添付してください

①団体の規約 ②団体の役員名簿

③対象となる伝統文化や、実施する事業に関する資料(過去に参加した行事のチラシや写真等)

※添付書類は上記の内容が記載されていれば様式は問いません。

「群馬のふるさと伝統文化」支援事業 事業計画書

記入例

1. 事業実施団体

(フリガナ)	マルマルホゾンカイ	
団体名	〇〇保存会	規約のとおりに記載してください
団体所在地	〒3××-×××× 〇〇市〇〇町×丁目×番地×× 電話番号: 027-×××-×××× FAX: 027-×××-××××	
(フリガナ)	デントウタロウ	
代表者名	伝統太郎	(役職: 会長)
代表者の連絡先等	住所: 〒3××-×××× 〇〇市〇〇町×丁目×番地×× 電話番号: 027-×××-×××× FAX: 027-×××-×××× Mail: ×××@×××××	
担当者の連絡先等	担当者名: 継承花子 (役職: 会計)	
※代表者以外に補助金申請の担当者がある場合に記入	住所: 〒3××-×××× 〇〇市〇〇町×丁目×番地×× 電話番号: 027-×××-×××× FAX: 027-×××-×××× Mail: ×××@×××××	

団体所在地と同じ場合は「同上」で構いません

申請内容の確認ができる方の連絡先(電話番号)は平日昼間に連絡可能なものを記入してください

メールでのやり取りが可能な方はご記入ください

2. 伝統文化の継承状況

(フリガナ)	マルマルシシマイ	
伝統文化の名称	〇〇獅子舞	
伝承地	〇〇市〇〇町	
発祥した時代	〇〇〇〇年頃	
文化財の登録状況	<input type="checkbox"/> 国指定 <input checked="" type="checkbox"/> 県指定 <input checked="" type="checkbox"/> 市町村指定 <input type="checkbox"/> なし	
特色	〇〇時代から、〇〇神社の祭事に奉納されてきた伝統の獅子舞。前獅子、中獅子、後獅子が舞うもので、舞は〇通り、歌は〇通りの演目が伝承されている。	
継承の状況	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 中断していた時期がある (時期: 〇〇年~〇〇年頃)	
団体の活動状況	・会員数: 〇〇人 ・稽古の状況や出演したイベント、会員数の増減等: 毎月2回、稽古を行っている。 春と秋に行われる〇〇神社の祭事で奉納している。 毎年〇月に開催される〇〇市伝統芸能まつりに出演している。	

該当する項目に〇をつけてください

継承されている伝統文化の特色を簡潔に記載してください

中断していた時期がある場合は記入してください

活動の状況を具体的に記入してください

※選択肢があるところは、該当する欄に〇をつけてください。

# 記入例

該当する項目に○をつけてください

## 3. 補助を希望する事業の内容

対象事業	<input type="checkbox"/> 伝統文化映像記録事業 <input type="checkbox"/> 伝承者養成事業 <input type="checkbox"/> 伝統文化継承活動事業 <input checked="" type="checkbox"/> こども伝統文化継承事業 <input type="checkbox"/> 地域伝統文化サポーター事業												
補助を希望する事業の目的	新たに子どもを対象とした獅子舞教室を開催し、若年層への伝承を図る。												
補助を希望する事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>場所</th> <th>対象者</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月～3月</td> <td>〇〇公民館</td> <td>中学生以下</td> <td>毎月第2・第4土曜日に、子どもを対象とした獅子舞教室を開催する。</td> </tr> <tr> <td>9月頃</td> <td></td> <td></td> <td>子ども用の衣装を購入する。 子ども用獅子頭の修繕。</td> </tr> </tbody> </table>	時期	場所	対象者	内容	8月～3月	〇〇公民館	中学生以下	毎月第2・第4土曜日に、子どもを対象とした獅子舞教室を開催する。	9月頃			子ども用の衣装を購入する。 子ども用獅子頭の修繕。
時期	場所	対象者	内容										
8月～3月	〇〇公民館	中学生以下	毎月第2・第4土曜日に、子どもを対象とした獅子舞教室を開催する。										
9月頃			子ども用の衣装を購入する。 子ども用獅子頭の修繕。										
期待される効果	地域に伝わる獅子舞を子どもたちに知ってもらうことで、次世代への継承が期待される。												

事業の目的を簡潔に記入してください

事業の概要を具体的に記入してください

期待される効果を具体的に記入してください

チラシに記載の留意事項について、確認しました。(募集チラシの留意事項を確認の上、チェックをつけてください)

※選択肢があるところは、該当する欄に○をつけてください。

## 4. 事業実施に要する経費

補助対象経費 × 2/3  
ただし、各補助メニューの上限額以内

経費区分	金額	補助対象経費	摘要(品目、数量など)
事業団補助金	200,000		
市補助金	100,000		
自己資金	100,000		
計	400,000		
指導謝金	50,000	50,000	講師 10,000円 × 5日
交通費	10,000	10,000	講師旅費 2,000円 × 5回
修繕費	100,000	100,000	獅子頭修繕 100,000円
備品購入費	50,000	50,000	衣装 5,000円 × 10着
飲食費	30,000	30,000	飲料 100円 × 10人 × 5日 弁当 500円 × 50個
文具、コピー用紙、記録媒体等	20,000	20,000	コピー用紙
印刷費	50,000	50,000	チラシ 50円 × 1,000枚
会場使用料	40,000	40,000	練習室 2,000円 × 20日
委託料	50,000	50,000	映像制作費
計	400,000	400,000	

収入額と支出額を一致させてください

部外者に依頼する場合のみ

公共交通機関とガソリン代のみ

団体が所有・管理するもののみ。  
伝統文化映像記録事業、地域伝統サポーター事業は対象外

・会議時の飲み物代  
・イベント当日の講師・スタッフ・出演者の弁当代(単価800円以内)  
・飲食費は合計6万円以内

申請団体の事務所は会場使用料の対象外

※対象事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記入してください。

※枠内に書ききれない場合は、別紙に記入してください。

委託料は専門業者などでなければできない部分のみ対象

- その他参考となる書類を添付してください
- ① 団体の規約
  - ② 団体の役員名簿
  - ③ 対象となる伝統文化や、実施する事業に関する資料。(過去に参加した行事のチラシや写真等)

※上記の内容が記載されていれば、様式は問いません。